

よく考え、進んで行動できる、心身共にたくましい児童の育成
＝ 強く 明るく 考える ＝



稲敷市立高田小学校
令和7年2月5日発行 No10
TEL 029-892-2242
FAX 029-892-3794
<https://www.inashiki-c.ed.jp/page/dir000052.html>

☆ 本物にふれる 本物とかかわる ☆

「立春」を迎えました。北西の風がなく晴れた日にはあたたかさを感じる時もあります。でも、本当の春はまだ遠く、朝から寒さに耐えて（負けずに）活動する日が続きます。インフルエンザ等の感染症流行の時期ですが、子どもたちは元気。ご家庭のご協力のお陰です。



今年度最後の避難訓練【大地震の想定で事前告知なし】が行われました（詳しくは保健だよりに）。避難後に、東日本大震災の原因となった大きな地震について、当時、子どもたちと同じ小学生であった本校職員が、その発生の瞬間の様子や気持ちなど実体験に基づく「本物」の話をしました。みんなの命が守られた安堵感や避難訓練の大切さについて気持ちを込めて伝えました。

先月、3年生は国指定天然記念物「オオヒシクイ」を自分の目で見て耳で聞くことができました（詳しくは右上に）。歴史民俗資料館では、機織りなど、普段は目にしないものにふれて動かすこともしました。現在は、室内に居ながら動画などで簡単に確認することもできますが、五感を働かせて、現地で「本物」にふれた経験や感動を伴う体験は、子どもたちの中に刻まれ確かなものとして残ると思います。

先日、筑波大の留学生が来て子どもたちと交流しました（詳しくは右下に）。英語を使いながら運動を伴うゲームを行いました。自分たちとは生まれ育った環境が大きく違う留学生と子どもたちの距離はすぐに縮まり、相手を受け入れ夢中になっている様子がよく分かりました。英語の学習が進むとともに、自分と同じだけれど違う「本物」と直にかかわった有意義な時間でした。

2月になり、卒業式（修了式）が近づいてきました。学校では、このあと「最後の～」の場面がいくつかあります。例えば「最後の縦割り班活動」「最後の委員会活動」等々。一つ一つは小さな機会や短い時間ですが、ここでも、感謝の言葉や励ましの言葉を「本物」を前に伝える場面があります。子どもたちと一緒に、これからの糧となる、よい時間にするように努めます。

ここまで、子どもたちは学校の内外で様々な経験を積んできました。ICTのよさを生かしながら、「本物にふれる」「本物とかかわる」機会を得て特色のある教育活動を展開できたのは、保護者の皆様のご支援はもちろんのこと、地域の方々との連携があってこそです。学年のゴールまで残り2ヶ月。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

3年生校外学習

1月20日（月）、総合的な学習「稲敷探検隊」の学習として1つとして稲波干拓でオオヒシクイの観察をしてきました。今年も、稲敷雁の郷友の会の方々にご協力いただき、オオヒシクイが餌を食べたり鳴いたりする姿をスコープでのぞいたり、説明を聞いたりしました。当日の日の出頃に31羽が飛来し、子どもたちが観察しているときにちょうど飛び交う姿も見ることができました。

23日（木）には、社会科「道具とくらしのうつりかわり」の学習の一環として歴史民俗資料館を見学してきました。古い道具や昔の生活について資料を見たり説明を聞いたりしました。また、機織りの体験もさせてもらい、貴重な学習の機会になりました。



保健集会

1月30日（木）、児童集会で保健委員会による「腸？超！大切なうんちの話」の発表がありました。「よいんちのための3つの力」、腸内環境を整えることの大切さ等、子どもたちが一生懸命調べ、説明しました。集会に続いて、学校保健委員会が開かれ、参加した保護者の方々からも、「聞いている子どもたちも皆真剣に聞いていてすばらしい集会だった」との声をいただきました。



5年生、スポーツをととした外国語活動

2月3日（月）、稲敷市筑波大学留学生派遣事業として、5年生がメキシコとザンビアの留学生と英語の学習を行いました。はじめは緊張していた子どもたちもすぐに打ち解け、アルファベットカードで英語の単語をつくる活動を体を動かしながらゲーム形式で行うなど、楽しく活動することができました。給食も一緒に食べ、笑顔で交流する姿が見られました。

